

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.19)

## PCB廃棄物の受入と操業状況(10月)

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)では、先月号でお知らせしました作業効率の改善工事(2回目)を、先月に続き10月28日～11月1日に行いました。

10月の操業は、この第2回工事での改善予定部分を除き、9月末の第1回改善工事により設備不調による遅れはほとんどなくなりました。

しかし、コンデンサ内の素子を包容している厚紙の処理に着手し、粉碎して短冊状に裁断した素子と一緒に攪拌洗浄して表面に付着しているPCBを綺麗に洗い落としたのち、最後に真空加熱分離で内部に染み込んだPCBを蒸発させるラインに投入したところ、これまで12～13時間で処理できていた真空加熱分離工程が24～33時間もかかるようになり、コンデンサの処理台数が計画の約6割になってしまいました。

これは装置上の問題ではなく、粉碎した厚紙が断熱材となって加熱を妨げていることが原因であるため、厚紙と素子を分別して処理するように処理計画を変更するとともに、厚紙の破碎方法を検討しています。

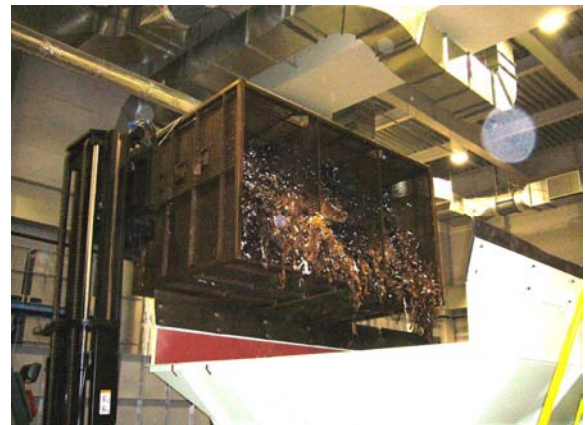
なお、トランスの処理は順調に進み、9月の改修工事期間中に受け入れたものも含めて処理を完了しています。

10月の受入台数	処理台数	
コンデンサ	490台	301台
小型トランス	12台	14台
大型トランス	4台	4台

※処理期間があるため、受入台数と処理台数は一致しない



コンデンサ解体ラインで素子を包む厚紙を剥がしたところ



真空加熱分離処理が完了した素子を  
払出エリアの梱包機に投入するところ

## 運転管理担当者連絡会を豊田施設で開催

日本環境安全事業株式会社(JESCO)では、北九州・豊田・東京・大阪・北海道の5事業所の運転管理課と本社の運転技術課の担当で、技術情報と不具合対策等の各事業所相互の横展開を目的に、2ヶ月に1回連絡会を開催しています。今回は10月20、21日に豊田施設で開催しました。

会議には本社、各事業所から25名が出席し、豊田事業所から9月の操業状況と初期段階における作業効率が悪い施設の内容とその対応、大型トランスの解体手順等について詳細に説明し、活発な討議がなされました。これから操業に向かう事業所で生かすことはもちろんのこと、操業を開始している事業所の新たな改善策に繋がるよう情報交換の強化を図っています。

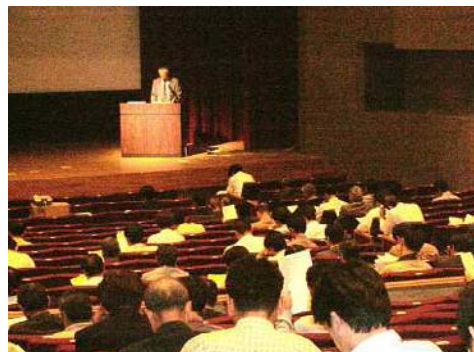


## PCB多量保管者説明会が開催されました

10月25日、名古屋市中区役所ホールに於いて、PCB多量保管事業者説明会が開催されました。この説明会は、愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市の共催で、トランスやコンデンサを20台以上保管する多量保管事業者を対象にしたもので、約110社150名の方が参加しました。

説明会では、愛知県環境部廃棄物対策課から、愛知県PCB廃棄物処理計画に基づき、多量保管事業者は平成17年度末までに処理計画を策定し、報告するよう説明と指導がありました。

また、JESCOからは豊田PCB廃棄物処理事業の概要説明をするともに、平成17年度末まで実施している早期登録・調整割引制度の積極的な活用をお願いしました。



早期登録・調整割引制度の概要や、必要書類等については、

<http://www.jesconet.co.jp/p-htm/soukitouroku.htm>

をご覧ください。豊田事業所営業グループ(0565-25-3405)にお問い合わせください。

## 環境調査について



10月17日から24日にかけて、豊田施設において豊田市と協定を交わした環境モニタリング計画に基づく環境測定を実施しました。

排気測定については9月から実施していましたが、10月はそれに加えて、排水、悪臭、土壌、地下水、そして敷地境界での大気測定を実施しました。

また、今回の測定においては、施設内で実施している卒業判定試験について外部機関とのクロスチェックを行うため、卒業判定物の分析も依頼しました。

分析結果が出るまでは約1ヶ月ほどかかる予定ですが、これらの結果はホームページ等で公表していく予定です。

## 施設見学者の状況

10月も多くの方が視察、見学されています。

見学された方の一例を挙げますと、浜松市廃棄物対策課(10月5日)、(社)中部電気管理技術者協会三重支部(同5日)、EPOC産業エコロジー部会(同7日)、名古屋市上下水道局(同6日)、豊田市廃棄物処理施設審査会委員(同13日)、愛知県の県事務所廃棄物対策関係職員(同14日)、北海道廃棄物処理施設専門委員会(同19日)、蒲郡市環境対策協議会(同25日)、(社)富山県経営者協会・環境委員会等、豊田市内外からご来訪をいただきました。

特に、EPOC産業エコロジー部会は、環境問題をテーマに中部地区のトップ企業が集い、環境負荷低減に向けて異業種交流を進められている団体で、多くの企業の方々も豊田PCB廃棄物処理事業に、ご理解を頂いていることを実感しました。

この他にも保管事業者や近隣企業の方のご見学もあり(10月計20団体255名)、豊田施設の安全確実な処理状況を確認して頂いております。今後も安全確実な操業とPCB廃棄物の処理事業の遂行を進めていきますのでよろしくお願いいたします。

なお、施設見学をご希望される方は、弊社HPに申込書を掲載しております。申込書の提出については、他の見学希望者との重複を避ける等日程調整が必要ですので、事前に豊田事業所総務課(0565-25-3110)までご連絡して頂いた後、申込書にご記入のうえ提出頂きますようお願い申し上げます。



プレゼンテーションルームでご説明



見学者通路からの設備紹介

【施設見学申込に係るHPアドレス】

<http://www.jesconet.co.jp/p-htm/toyotakengaku.htm>

### 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/p-htm/toyota.htm>